



製品名：サビナイン  
安全データシート

1/6  
品番 07908-29470 (1kg)  
07908-21480 (4kg)  
07908-21490 (18kg)

発行：2016/04/01

## 1. 製品及び会社情報

製品名：サビナイン

用途：錆転化型防錆プライマー

会社名	モリブデンビーピー株式会社		
住所	〒596-0835 大阪府岸和田市流木町128-1		
担当部門	技術部	担当者	植村彰
電話番号	072-428-2403	FAX 番号	072-428-2450
緊急連絡先	同上	改訂	2016/04/01

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 分類できない

火薬類 : 分類できない

可燃性固体 : 分類できない

自己反応性化学品 : 分類できない

自然発火性固体 : 分類できない

自己発熱性化学品 : 分類できない

水反応可燃性化学品 : 分類できない

酸化性固体 : 分類できない

有機過酸化物 : 分類できない

金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

急性毒性 (経皮) : 分類できない

急性毒性 (吸入：気体) : 分類できない

急性毒性 (吸入：蒸気) : 分類できない

急性毒性 (吸入：粉塵、ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 1

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 (慢性) : 分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語

危険

製品名：サビナイン

品番 07908-29470 (1kg)  
07908-21480 (4kg)  
07908-21490 (18kg)

## 危険有害性情報

- ・重篤な皮膚の薬傷、目の損傷
- ・重篤な眼の損傷
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

## 注意書き

- ・容器を密閉すること
- ・5度以下、30度以上での保管はしないこと
- ・製品を使用する場合には、飲食又は喫煙をしないこと
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと
- ・眼／手／顔面用の保護具を着用すること
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
- ・この製品の使用時には、飲食／喫煙をしない
- ・スプレーのミストを吸入しないこと
- ・子供の手の届かない所へ保管すること

## 3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分

水溶性ラテックスエマルジョン混合物

化学名又は一般名

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量	備考
ラテックス	未登録	—	
タンニン酸	未登録	—	
労働安全衛生法 表示対象物質	非該当		
労働安全衛生法 通知対象物質	フッ素及びその水溶性化合物（政令番号 No.487） シュウ酸（政令番号 No.304）		
PRTR 法	非該当（但し、フッ素及びその水溶性化合物（第一種指定化学物質 No.374）を 0.2%以下含有		

## 4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所へ移動させ、身体を毛布などで被い、保温して保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服・靴などを速やかに脱ぎ、多量の水または微温湯と石鹸で付着した部分を洗い流す。また、水疱、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合

清浄な水で十分に目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズ着用の場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引などの危険性が増す。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗浄する。

最も重要な徴候及び症状に  
関する簡潔な情報

飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。

目に入ると炎症を起こす可能性がある。

皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。

## 5. 火災時の措置

消火剤

不燃性であるが水が蒸発したものは燃焼する。

使用不可消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状の強化液などが有効。  
知見なし

特定の消化方法	本製品の乾燥物に着火した場合。 消化作業は可能な限り風上から行なう。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 初期火災の際には、粉末消火薬剤、二酸化炭素消火器を用いる。 大規模火災の際には、泡消火薬剤を用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行なう者の保護	消火の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。燃焼又は高温により有毒なガス（一酸化炭素等）が生成する可能性があるため、呼吸用保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	流出して製品が河川・下水道等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
除去方法	漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合には土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。大量の場合には、漏洩した液を土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、硫酸バンドや塩化カルシウム水溶液を加えて凝固させる。凝固物は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の施行令第6条に従って、セラム分は水質汚濁防止法施行令第3条に従って処理すること。海上の場合には、オイルフェンスを展開し拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
二次災害の防止法	速やかに関係機関に通報する。周囲の着火源を取り除き、着火した場合に備え、消火機材を用意する。こぼれた場所は滑りやすい為、注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	
取扱者の暴露防止	取扱には作業着、保護眼鏡を必ず着用し直接の接触を避ける。手袋の着用も好ましい。また、口の中に入れてたり飲んだりしてはならない。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 こぼれないように取り扱うこと。
その他の注意	常温で取扱うものとし、その際、水分、きょう雑者の混入に注意する。また、取扱の都度容器を必ず密栓する。
保管	
適切な保管条件	容器は密閉のまま5℃～30℃の屋内保管とする。 直射日光及び凍結を避け、換気の良い場所に保管する。熱、スパーク、火災及び静電気蓄積を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。
安全な容器包装材料	国連輸送法規に規定されている容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	ミスト・蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。
許容濃度	
管理濃度	規定なし
許容濃度	日本産業衛生学会 (2007 年度版) 規定なし ACGIH (2007 年度版) 硝性フッ化ナトリウム TLV-TWA 2.5mg/m <sup>3</sup> シュウ酸 TLV-TWA 1.0mg/m <sup>3</sup>
保護具	
呼吸器の保護具	ミスト・蒸気が発生する場合、必要に応じて防毒マスク (有機ガス用) を着用する。密閉された場所では、送気マスクを着用する。
手の保護具	長時間、また繰り返し使用時には、耐油性 (不浸透性) 保護手袋を着用する。
目の保護具	ゴーグル型眼鏡もしくは側板付き眼鏡を着用する。
皮膚、身体の保護具	耐油性の長袖作業衣、安全靴を着用する。濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。
適正な衛生対策	作業中は飲食、喫煙をしない。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。また休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	液体 (エマルジョン)
色	乳白色
臭い	特異臭
pH	約 2
物理的状態が変化する温度	
沸点	データ無し
融点	データ無し
引火点	測定不能
爆発特性	
爆発限界	下限：データ無し 上限：データ無し (推定値)
密度	1.00g/c m <sup>3</sup> (20°C)
溶解性	水に対する溶解度：水溶性

## 10. 安定性及び反応性

安定性	アルカリと反応する。
反応性	アルカリと接触すると反応する。
避けるべき条件	アルカリ、強酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼等により一酸化炭素等が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラット LD50 10000mg/kg 以上 (推定値)
経皮	有用なデータ無し。
吸入：気体	有用なデータ無し。
吸入：蒸気	有用なデータ無し。
吸入：粉塵・ミスト	有用なデータ無し。

皮膚腐食性・刺激性	約 pH2 に相当する。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に入ると炎症を起こすことがある。約 pH2 に相当する。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	有用なデータ無し。
皮膚感作性	有用なデータ無し。
生殖細胞変異原性	有用なデータ無し。
発がん性	有用なデータ無し。
生殖毒性	有用なデータ無し。
特定標的臓器	
全身毒性（単回暴露）	有用なデータ無し。
全身暴露（反復暴露）	有用なデータ無し。
吸引性呼吸器有害性	有用なデータ無し。

## 12. 環境影響情報

移動性	物理化学的性質から見て、大気、水系、土壌環境に移動しうる。
残留性／分解性	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性	現在のところ有用な情報なし。
生態毒性	現在のところ有用な情報なし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	事業者は残余廃棄物を自ら処理するか又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。残余廃棄物は産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で規制されているので、そのまま埋め立てたり、投棄してはならない。
汚染容器・包装	内容物を完全に除去した後に残余廃棄物と同様に産業廃棄物として処理する。

## 14. 輸送上の注意

国連分類	製剤として未登録
国連番号	
陸上輸送	労働安全衛生法、消防法等に定められた輸送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。

## 15. 適用法令

消防法	非危険物
化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	フッ素及びその水溶性化合物（通知対象物質 No.487） シュウ酸（通知対象物質 No.304）
毒物・劇物取締法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
水質汚濁防止法	有害物質（フッ素及びその化合物）
海洋汚染防止法	知見なし

船舶安全法、危険物船舶運 知見なし  
送及び貯蔵規則

## 16. その他の情報

引用文献

1. 許容濃度の勧告 (2008) 日本産業衛生学会
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2008)
3. 中央労働災害防止協会ホームページ
4. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
5. 製品安全データシートの作成指針 (改訂 2 版)

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性についてはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。本製品安全データシートは、本製品の通常取扱いを対象とし、安全な取扱いの参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。